

第3期

みやぎ食と農の 県民条例基本計画



共創力強化

多様な人材が豊かな未来をつくる

みやぎの食と農

宮城県の農村は、都市部からの距離が近く、海・山・大地の美しい風景や豊富な食材に恵まれています。

農村の魅力をより身近に感じるのは「農泊」がおすすめです。農家民宿などに泊まり、収穫体験や郷土料理作りなど、さまざまな体験や、農村の人々との交流を満喫することができます。

「農泊」で、農村の魅力を五感

農村で遊ぼう・泊まろう

宮城県の農村は、都市部からの距離が近く、海・山・大地の美しい風景や豊富な食材に恵まれています。

今回は、「農村」の魅力や役割、県の取り組みについて紹介します。

皆さんは、「農村」にどのようなイメージを持っていますか。

県は、「豊かな食」、「儲ける農業」、「活力ある農村」を実現するため、「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画（令和3年度～12年度）」を策定しました。

この計画では、人口減少や高齢化が進む中で、農業者だけでなく、食と農に関わる全ての人材が結びつき活躍することにより、豊かなみやぎの食と農の未来を共に創っていくことを目指しています。

皆さんは、「農村」にどのようなイメージを持っていますか。

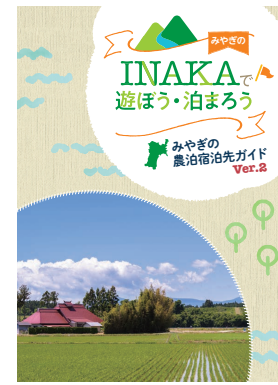
県は、「豊かな食」、「儲ける農業」、「活力ある農村」を実現するため、「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画（令和3年度～12年度）」を策定しました。

大雨が降った際に、上流域の田んぼに最大限雨水をためて少しずつ排水することで、下流域の宅地や農地などの洪水被害を軽減することができますとされており、令和2年度から試験的に導入を進めています。

「田んぼダム」

田んぼには、雨が降ったときに一時的に雨水をためる機能があり、その機能を活用した「田んぼダム」が近年注目されています。

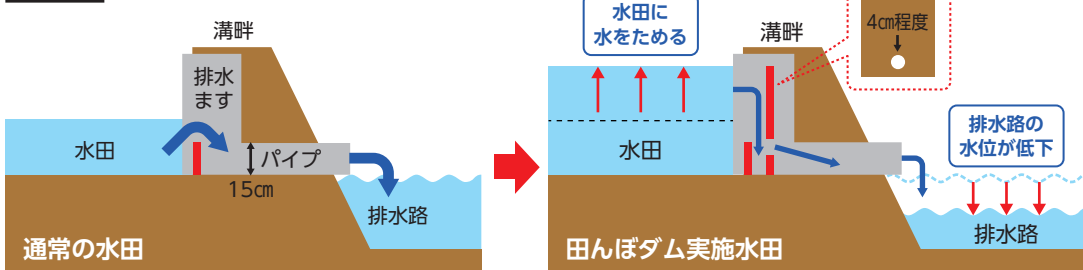
みやぎの農泊サイト



で味わってみてはいかがでしょうか。

県は、地域資源の発掘と磨き上げにより、魅力的で活力ある農村が維持されるよう支援しています。

断面図



水田の排水がそのまま排水路へ流れ、排水路の水位が上昇します。

パイプよりも小さな穴の開いた板等の調整装置を取り付け、ゆっくりと排水を流すことで、排水路の急激な水位の上昇を防ぎます。

令和3年度からは、大崎市内にモデル地区を設定し、関係者の協力のもと効果検証・普及啓発活動の取り組みを行い、地域の防災力の強化に努めていきます。

- 問みやぎ食と農の県民条例基本計画に関すること … 農業政策室 ☎022(211)2892
- 問農泊に関すること … 農山漁村なりわい課 ☎022(211)2866
- 問田んぼダムに関すること … 農村振興課 ☎022(211)2862